

(人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 「脊髄小脳変性症患者のバランス障害特性を考慮した評価指標の検討」

【研究責任者】 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 身体リハビリテーション部
板東杏太

【本研究の目的及び意義】

当センターでは、脊髄小脳変性症(SCD)の方を対象に「集中リハビリテーションプログラム」を2016年より実施しております。参加者の皆様には好評を頂いており、今後もプログラム内容の充実を目指して研究を進めて参ります。SCDでは歩くなどの動作時の不安定さ(バランス障害)が主な症状の1つです。我々のグループでは、バランス障害の評価としてBalance Evaluation Systems Test (BESTest)という評価指標を用いてきました。しかし、この指標はSCDに特化して作成されたものではありません。よって、本研究では、プログラム開始から現在に至るまでの電子カルテ上のデータを用いてSCDに特化したバランススケールの作成を目指します。また、それと同時に臨床場面で評価結果の解釈が行いやすいように、評価項目の難易度を考慮したスコアリングシートの作成も行います。最後にこれまでに「集中リハビリテーションプログラム」に参加して頂いた方の介入前後データを、新しく作成したバランススケールにて再解析したいと思います。これらの一連の研究により、SCDの主症状であるバランス障害をより詳細に評価・診療できるようになることを目指します。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

2016年06月27日～2022年4月26日までに国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院で外来、入院でSCDリハビリテーションプログラムを受けられた方。

利用する情報・試料等

情報：電子カルテデータ(日常臨床の一環として実施したバランス能力評価の点数、年齢、性別、病名)、またデータは個人が特定できないように加工した状態で共同研究機関(茨城県立医療大学)に解析目的で共有致します。

研究期間

2022年4月26日から2026年3月31日まで

【共同研究機関】

茨城県立医療大学 研究責任者 宮田一弘

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

所属 身体リハビリテーション部 氏名 板東杏太

電話番号 042-341-2711

e-mail:kyota.bando※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail:ml_rinrijimu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)